

私と人権ネットワーク

宮崎県延岡市 窪 田 巧

NPO法人障害児・者 人権ネットワーク設立15周年を迎えることになったとの連絡を昨秋に伺いました。ここからの準備が大変だったことでしょう。準備に当たった皆様に篤く御礼申し上げます。

多忙な事務所の仕事と同時に、人権ネットの窓口としていつも相談をうけている小野さん、いつもいつもありがとうございます。小野さんから理事長の栗谷さんや関東在住の皆さんに伝えられ、背後で清水先生をはじめとする弁護士の方の先生方の支えがあって、この人権ネットが長きにわたって活動ができたものと拝察申し上げます。

ありがとうございます。

私はこの人権ネットワークによって、多くを助けられました。このうちの一つを紹介しましょう。

平成23年の初夏、私は思わぬ事態に遭遇して身動きできなくなっていました。

時系列に並べてみますと、平成23年7月3日の午前から夜10時までの出来事です。その日は母の法事があったのです。私は盲導犬同伴で行動しておりました。

1. お寺さんで犬は離れたところにつないでくれ。
2. 親戚との会食を予定していた地元の旅館で盲導犬のことを告げると、返事が一切ありませんでした。つまり、同伴拒否。
3. 同日、夕方5時、娘家族が事故に遭ったとの連絡があって、国立病院へと急ぎました。
4. 着いたのが7時。病院に入り、階上へと急ぐと、呼び止められました。担当医から、犬は外に出してくれ。
5. やむなく、私だけ市内のホテルに宿泊することになり、電話を入れるも、全部のホテルから断られました。

結局、この一日だけだったけど、盲導犬同伴ということで、身動きがとれなかったのであります。翌日から、なんとかしなければとあちこちに相談しました。県庁も協会も障害者団体も、「大変だったですね。えっ 私が抗議するのですか？ それは…」と逃げてしまったのです。

そこで、小野さんに相談すると、人権ネットで請願書を出したらどうかということになり、出すことにしました。厚労省、お寺の総本山、鹿児島県庁、宮

崎県庁、都城市役所、南薩摩市役所、全国旅館ホテル組合...など、計 8 ヶ所に送付したのであります。

この人権ネットの名の威力は大きいのですね。全部から回答がありました。

こののちに改善されたかどうかはわからないのですが、腰の重かった鹿児島県庁と南さつま市がしぶしぶ回答を寄越してくれたことだけは痛快でありました。

実は「回答をいただきました。お忙しい中を感謝申し上げます」と先にお礼の手紙を出したのであります。すると、遅れてそれぞれの回答が届いたのです。私のふるさとして、この程度だったかと寂しくはなりましたけど。

最後に最近の動きをご紹介します。会員でもあります川井さんの取り組みです。川井さんは、遠隔地や移動に困難なメンバーが気軽に会議に参加できないものかと以前から取り組んでこられました。スマホやタブレット、それにパソコンを駆使してのビデオ会議であります。詳細は当日、川井さんから説明があることと思いますが、幾度も実験を重ねられたのです。こうしたご苦労など経緯も拝聴できますならばありがたいですね。

